



碧南ロータリークラブ週報

第3158回例会 令和8年3月11日(水)

- 会長 黒田 泰弘
- 幹事 永坂 誠司
- 会場監督(SAA) 長田 一希

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <https://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100

- 会報委員 杉浦邦彦・長田康弘・杉浦秀延

2025-2026 年度
国際ロータリー会長メッセージ

**UNITE
FOR
GOOD**

よいことの
ために
手を取りあおう

● 斉 唱

ロータリーソング「我等の生業」

● 本日のお弁当

大正館

会 長 挨拶

失礼致します。

本日は 2011 年に起きました東日本大震災の日ですが、当時の映像が流れる度にあの日の悲惨な光景が蘇ってきます。私も縁あって 2760 地区の防災対策委員会にて地震について学ばせていただきましたが、3.11 の教訓を忘れずに今後必ず起こると言われております東南海地震に備えていきたいと思えます。

一方、明るい話題と致しましては、ミラノ・コルティナオリンピック、WORLD BASEBALL CLASSIC、大相撲とスポーツ好きには楽しみな日々が続いております。皆様はどんなスポーツがお好みでしょうか？

ミラノ・コルティナオリンピックでは日本人選手の躍進が光った大会となりましたが、特に「りくりゅうペア」の金メダルには妻と 2 人してもらい泣きしてしまいました。しかし、銀メダルで嬉し涙と思ったら、悲しみの涙だったり、銅メダルでも喜びの涙だったり、同じ涙でもわからないものだなあと、ふと涙について知りたくなり調べてみました。

まず涙には目を潤す「基礎涙」、玉ねぎを切ったときの「反射涙」、感情によって流れる「情動涙」の 3 種類あるそうです。情動涙を流す生物は現在のところ人間だけだと考えられております。アメリカの生化学者ウィリアム・フレイの研究によりますと、情動涙にはストレスホルモンが多く含まれており、涙を流すことで心身の緊張が和らぐ可能性が示されていて、「心の排出装置」とも言われております。



黒田泰弘会長

では、なぜ同じ涙でも銀メダルでは悔し涙、銅メダルでは喜びの涙が見られるのかということについては、1995年にトーマス・ギロヴィッチらの研究チームが分析をしました。理由は「反事実的思考」だそうです。心理学的には銀メダルの人は「あと0.1秒で金だった」と考えます。でも、銅メダルの人は「危なかった、4位にならなくてよかった」と思います。つまり、銀は“上を見て泣き”、銅は“下を見て笑う”という心の中の比較対象の違いによるものとのことです。

オリンピックは順位を競う場ですが、涙は「人がどの方向を見ているか」を映す鏡なのです。つまり、涙は出来事そのものではなく、「その出来事をどう意味づけたか」によって生まれるようです。

ここで歴史を振り返ってみますと、古代ローマでは英雄が公衆の前で涙を流すことは高潔さの証とされておりました。涙は弱さではなく、徳の表れだったのです。日本でも武士が主君の死に涙することは忠義の証とされておりました。文学作品においても、涙は情の深さの象徴です。一方、近代ヨーロッパでは「男は泣くべきではない」という価値観が広まりました。つまり、涙の評価は時代や文化によって大きく変わるのです。

では、涙とは何でしょうか？涙は感情と思考がぶつかり合う瞬間に生まれるものです。悔し涙は「もっと上を目指したい」という向上心の証です。喜びの涙は「ここまで来られた」という自己承認の証です。どちらも人間が未来や可能性を考える存在だからこそ流れる涙です。

もし涙が出る瞬間があったなら、それは本気で何かに向き合った証拠です。涙が流れるということは、そこに価値を感じているということです。銀でも銅でも、涙が出るほど挑戦したなら、その経験そのものが人生の金メダルなのかもしれません。私は会長職を終えても、安堵感だけで涙は出ないと思います。まだまだ修行が足りませんね。

本日もよろしくお願ひ致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第9回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ローターリー東日本大震災青少年支援連絡協議会より「ロータリー希望の風奨学金プロジェクト 3/13NHK『おはよう日本』放映予定について」が届いております。
- ・ 3月18日（水）は休会になります。次回の例会は3月25日（水）になりますので、お間違のないようによろしくお願ひ致します。



永坂誠司幹事

委員会報告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 59 名 (内出席免除者 16 名の内出席者 13 名) 出席者 49 名	
出席対象者 49/56 名	出席率 87.50%
欠席者 10 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

新美 雅浩君 先月の I. M. を欠席し、次男の結婚披露宴を東京ディズニーシーにあるホテルミラコスタで行ないました。親が口を挟む余地なく、2人で全てを企画した内容でしたが、ディズニーファンにはたまらないものだったようです。私はチップとデールがテーブルに近づいてきた時に区別がつかず、初めてその違いを知りました。

石川 鋼逸君 }
石川 鋼勇君 } 3月5日(木)、角谷信二さん、杉浦栄次さん、長田康弘さんに大変お世話になりました。楽しかったです!!ごちそうさまでした。
鈴木 洋君 }
亀山 晋次君 }
倉内 松雄君 }

石川 鋼勇君 3月ゴルフ例会にて優勝させて頂きました。

牧野 勝俊君 男子バレーVリーグ・アイシンティルマーレ碧南の全試合が終了しました。優勝には手が届きませんが上位はキープ出来ました。パートナー企業の皆様を始め多くの応援に感謝申し上げます。来シーズンも引続きのご声援、よろしくお願いいたします。

亀山 晋次君 ゴルフ部会3月例会、会員皆様のご参加ありがとうございました。予約に際して石川鋼逸さんに大変お世話になりました。重ねてお礼申し上げます。

榊原 靖浩君 本日、私の履歴書を発表させて頂きます。よろしくお願い致します。

三木 信幸君 本日、卓話で私の履歴書をおこないます。宜しくお願い致します。

卓話

「私の履歴書」

会員 三木信幸君

岡崎信用金庫の三木です。よろしくお願い致します。

経歴ですが、昭和46年10月21日に名古屋市中川区で生まれ

まして、現在54歳です。3つ上に姉がおりまして、現在は金沢に嫁いでおります。幼少期を



三木信幸君

過ごした中川区には、名古屋球場のすぐ横に小学校がありました。春のオープン戦ともなれば、授業中にも球場からの歓声が聞こえてくるような環境でした。周りのみんなはドラゴンズの帽子をかぶって登校していましたが、中にはジャイアンツやタイガースのファンもありました。

小学校3年生まで中川区で育ちましたが、4年生に上がるタイミングで岩倉市へと引っ越ししました。岩倉市は人口約4万7千人ということで、愛知県の中で3番目に小さな市です。高浜市が約4万9千人ですから、その小ささがおわかりいただけるかと思います。今でこそ名古屋から15分ほどの便利な住宅地ですが、私が引っ越した当時は駅から徒歩5分の自宅の周りも田んぼだらけで、カエルが鳴き、蛇が出て、イタチまで現れるような場所でした。中川区から来た小学生にはそれはショックでして、しばらくは戸惑ってばかりでした。今はすっかり住宅街に変わっておりますが、あの頃の風景は今でも心に残っております。

その後は岩倉中学校から西春高校へと進み、1年間の浪人を経て愛知大学経済学部を卒業しまして、平成7年に岡崎信用金庫に入庫致しました。

私生活についても少しお話しさせてください。平成17年の「愛・地球博」がきっかけで今の妻と知り合いました。どちらが誘ったかについては今もときどき妻と議論になりますが、私は誘われた気がしております、妻は私が誘ったと言い張っております。平成20年11月に結婚しまして、現在は名古屋に住んでおります。碧南までは渋滞にはまると車で1時間半という距離ですが、電車で2時間かけて通っております。

毎年の結婚記念日には「木曾路」で夫婦の食事会を続けております。最初に訪れた際にアンケートへ記入したところ、毎年お祝いの案内ハガキが届くようになりまして、それにまんまと乗せられて続けている訳ですが、これはこれで夫婦の大切な恒例行事となっております。

趣味はゴルフと城めぐりです。ゴルフは月に1~2回ほど楽しんでおります。城めぐりはもともと全国を旅行したいという気持ちから始めました。何か目印になるのを探していたところ「日本100名城スタンプラリー」を見つけまして、それを軸に各地を回っております。平成29年には80城まで達成しました。東北や山陰にはまだ行けていない城もありますが、おおむね全国を巡ることができました。ただ、やり遂げようとしていた矢先に「続日本100名城」が発表されまして、「まだ終わりじゃないのか」と思いましたが、新たな目標ができた前向きに捉えて、休日を使って少しずつ回り続けております。

支店長になってからは急なキャンセルが生じるリスクを考え、海外旅行は控えるようにしております、旅行先も国内にシフトしております。この城めぐりはその意味でも国内の魅力を再発見する良い機会となっております。まだまだ訪れたい場所はたくさんあります。これからも碧南の地でしっかりと仕事に向き合いながら、旅行を楽しんでいきたいと思っております。

岡崎信用金庫の話に戻りまして、最初の配属は港支店で、以降は名古屋市内、豊田、岡崎、渉外担当者として営業一筋でやってきました。転機となったのは平成23年です。岡崎信用金庫として16年ぶりとなる新店舗開設ということで、平針支店の次長として着任することになりました。3年後にはそのまま同店の支店長を拝命しました。

平成27年には大高支店の新店舗開設にも携わることになりました。大高支店はイオンモール大高の正面に構える、ガラス張りで非常に美しい建物です。周囲の金融機関からは「美術館

みたいだ」と言われたほどで、今でも自慢の店舗の1つです。この時は3週間前に突然の打診がありました。前回の平針支店開設に携わったメンバーがみな異動していたため、経験者として白羽の矢が立ったとのことで、慌ただしくも充実した準備期間でした。

平成30年には本店営業部の副部長となりまして、令和3年からは西三河第一統括ブロック長として着任しております。西三河第一ブロックは碧南・高浜・西尾の11支店を管轄しております。常駐先は新川支店です。これまでの私のキャリアは名古屋・豊田・岡崎が中心でしたので、碧南に来て初めてご縁のできた瓦窯業や漁業関連の企業様との出会いは、大変新鮮な経験でした。また、うなぎが安くておいしいのは本当にありがたく、年に1~2回は欠かさずいただいております。

碧南支店は岡崎信用金庫にとって特別な歴史を持つ店舗です。昭和23年に開設された岡崎市外で最初の店舗が碧南支店です。初代支店長は丸共運送店さん（現・丸共通運さん）の鈴木直太郎様、並生さんのおじいさまであることが、弊社の100周年史にも記されております。また、最初の店舗は九重醸造さん（現・九重味淋さん）の倉庫を間借りして開設したとの記録も残っておりまして、歴史の重みを感じます。本部からもこの碧南地区に特別な思いが注がれていることは今でも変わらず、私としても大きなプレッシャーと使命感を持って取り組んでおります。

岡崎信用金庫は大正13年に創業し、昨年度は100周年として活動させていただきました。皆様には100周年事業を通じて大変お世話になりました。各支店長や担当者をお願いに上がる中、温かくご支援いただいたことをこの場を借りて改めて深く御礼申し上げます。次の100年に向けて、地域の皆様と共に歩んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

ご清聴ありがとうございました。

会員 榊原靖浩君

失礼致します。

「私の履歴書」ということで、生い立ちと会社の事業内容を少しお話させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

昭和46年8月1日に碧南市源氏町（昔でいう碧海郡棚尾村）で生まれました。幼少期の家族構成は父母と3人の姉、私の6人家族でした。姉3人という構成でしたから、家の中は常に女性の声が多く、私は少々肩身が狭い思いをしながら育ちました。

幼少期の写真を探していたら、宇宙戦艦ヤマトの大きなプラモデルを買ってもらって嬉しそうに組み立てている写真が残っておりました。当時は「ポラロイド1000」というカメラが流行っていたようで、父がそれで撮影してくれた1枚です。今見るとそのポラロイドの画質が案外鮮明で、時代の技術に驚かされました。

子供の頃から山登りをしておりました。家が自営業で信仰も篤く、商売繁盛の神様として



榊原靖浩君

御嶽山に毎年の夏休みに母に連れられて登っておりました。台風の最中に突風に煽られたこともありましたが、万年雪の上で足を滑らせたこともありましたが、今生きているのが不思議なくらいです。平成 26 年の御嶽山噴火の際にも、昭和 54 年の大噴火の翌年に登った記憶が蘇りました。硫黄の臭いが強烈で、自然の力を改めて思い知らされました。

小学校 3 年生から高校の途中まで剣道をやっておりました。姉が中学で剣道をやっておまして、今の碧南市剣道連盟の前身となる道場に母が送り届けてくれるうちに、気付けば自分も竹刀を握るようになっておりました。それからは夢中になりまして、碧南市内では何度も優勝させていただけるほどの腕前にはなりましたが、いざ県大会に出ると全く歯が立ちませんでした。

20 代はスキーにのめり込みました。バブルの名残が残っていた頃で、スキー場に行けば異性とも出会えるということで、グループを組んでゲレンデに通った楽しい記憶が残っております。

大学卒業後、将来は家業を継ぐという気持ちがありましたので、その前にしっかりと製造業の基礎を学ぼうということで、東芝の三重工場さんで修業させていただきました。製造・調達・管理・検査といういろいろなことを経験させていただき、榊原製作所に戻りました。

その後、平成 17 年から碧南青年会議所 (JC) に入会させていただきました。平成 18 年の 50 周年の際には服部弘史さん、梶川光宏さん、石川鋼逸さん、石川昌樹さん、長田康弘さん、杉浦邦彦さん、鳥居靖さんといった仲間たちと共に節目の活動に携われたことは、今も大切な思い出です。卒業が近づく頃には倉内松雄さん、石川鋼勇さん、神谷領伸さんらと一緒に活動できまして、大変な場面もたくさんありましたが、それ以上に楽しく充実した時間を過ごすことができました。

JC を卒業すると、今度は消防団へのお誘いをいただきまして、平成 26 年～平成 30 年までやらせていただきました。これは操法大会が終わった後の写真になるんですけども、沖縄出身の仲間が「沖縄では小麦粉を振りかけて祝う文化がある」と言い出し、突然持ち込んだ小麦粉をぶちまけて全員真っ白になるというハプニングがありました。

最近では碧南市スキー連盟にもお誘いいただき、仲間と毎年スキーを楽しんでおります。2 日間ありまして、1 日目はスキー・スノーボード教室で初心者の方にも教えながら、2 日目はボール競技 (大会) ということで、大人も子供も楽しめる構成になっております。

こちらが今の家族写真になります。平成 14 年に結婚しまして、妻と娘と息子の 4 人家族です。娘は今年 20 歳になりまして、息子は今春から高校生です。

最後に会社のことをご紹介させていただきます。祖父の代に榊原鉄工所として始まった事業を父が昭和 36 年から現在の土地で榊原製作所として発展させてきました。自動車部品・産業用モーター部品・印刷機械部品・ロボット部品など、様々な分野の金属部品を切削加工しております。車の部品の中でも、量産品ではなく、多種少量品が多く、オプション部品や特注の単品部品が中心です。

加工には NC 旋盤とマシニングセンタ (MC) を使用し、三次元測定機でミクロン台の精度管理も行っております。CAD/CAM によるプログラミングから加工・検査まで一貫して対応できる体制を整えております。

弊社はご紹介させていただいた製品以外にも社内ではいろんな分野の部品を手掛けております。製品は商品の一部ですが、いろんな技術が集積されている部品です。弊社はそんな仕事をさせていただいております。

以上をもちまして、「私の履歴書」を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和8年4月1日（水）

クラブフォーラム「高浜市の今とこれからをどうつくるか」

高浜市長 杉浦康憲氏